



P<sub>2</sub>  $\bar{x} = \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}$  です。

T うん、そのとおりだね。そうすると、次には、 $x_1, x_2, x_3$ の $\bar{x}$ からのずれを考えるわけだ。まず、ここのずれは。

P<sub>3</sub>  $x_1 - \bar{x}$ です。

T 次のここは。

P<sub>4</sub>  $x_2 - \bar{x}$ です。

T 最後のここのずれは。

P<sub>5</sub>  $x_3 - \bar{x}$ です。

T うん、よくできたね。ところで、いま求めた $x_1 - \bar{x}, x_2 - \bar{x}, x_3 - \bar{x}$ らは、データの各値が、平均値からどれだけずれているかを示す値であって、これを**偏差**といいます。この言葉を使うと、偏差の総和Sはどうか、ということになるね。式に書くと……………。

P<sub>1</sub>  $S = (x_1 - \bar{x}) + (x_2 - \bar{x}) + (x_3 - \bar{x})$

T それを計算していくと……………。

P<sub>2</sub> えーと、 $\bar{x}$ は3つあるから、 $S = (x_1 + x_2 + x_3) - 3\bar{x}$ です。

T それからどうなる。

P ……………

T それでおしまいかな。0になるのでは、という予想があったのだが。

T  $x_1 + x_2 + x_3$ と $\bar{x}$ との関係は……………。

P<sub>3</sub> できた！、できました、0になります。

T えらいな。では、黒板でやってみてください。

P<sub>3</sub>  $\bar{x} = \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}$  より、 $3\bar{x} = x_1 + x_2 + x_3$ ……………(1)

一方、 $S = (x_1 + x_2 + x_3) - 3\bar{x}$ ……………(2)

(1)を(2)に代入して、 $S = 0$

T お見事。(偏差の総和) = 0となったね。これは、A組の場合も、B組の場合もみんな同じで、いつでも(偏差の総和)は0になるんだね。すごいな。みんなの予想は正しかったわけだ。たいしたもんだね。ところで、われわれ